

「たかまつしんきんの森」で第6回森づくり活動を実施

去る3月12日、土曜日、高松信用金庫の伊賀理事長をはじめ、職員とその家族の皆さん約45人が、高松市塩江町安原下の「たかまつしんきんの森」で、第6回目の森づくり活動を行いました。

参加者は、4つのグループに分かれて、県職員や森林組合職員から、植林の仕方について、実際に植林しながらの説明を受けた後、昨年12月に竹林を整備した跡地に、コナラ200本を植栽しました。

竹の地下茎が多いところや急傾斜地のところもありましたが、心地よい汗を流しながら、1時間程度で植林を終えました。



〈竹の根を切りながらコナラを植え付ける穴掘り〉



〈コナラを植え付ける穴掘り〉



〈コナラを1本1本丁寧に植え付け〉



〈植林終了後、記念撮影〉

参加者は、「植林しようと穴を掘ったら、竹の根が多くて掘るのが大変でしたが、楽しかった。」、「将来、自分の植えた木が大きくなったのを見に来るのが楽しみだ。」、「思ったより、木を植えるのは大変だった。明日は、筋肉痛になるだろう。」、「木を植えることによって、少しでも山地災害の防止や水源のかん養に役立つことがうれしい。」などと話をしていました。

高松信用金庫では、今後も継続して竹林の整備と広葉樹の植林を実施する予定にしています。